

ご挨拶



公益財団法人 杉浦記念財団
評議員会長 理事長
杉浦 広一 杉浦 昭子

お蔭様をもちまして、杉浦地域医療振興賞（以下「杉浦賞」といいます。）及び杉浦地域医療振興助成（以下「杉浦助成」といいます。）は第6回となり、北海道から沖縄までの全国各地から、杉浦賞には34編、杉浦助成には150件の応募をいただきました。応募いただきました皆様に、この場を借りて御礼を申し上げます。

審査委員、選考委員の先生方の厳正な選考の結果、杉浦賞に関しては4編、杉浦助成に関しては研究分野10件、活動分野10件の計20件を選定させていただきました。

なお、今回から杉浦助成を研究分野と活動分野に分け、地域で活躍している皆様にも助成できるように変更いたしました。

残念ながら選に漏れた中にも、優れたものも多く、審査・選考いただいた先生方にはたいへんご苦勞をおかけいたしました。併せて御礼申し上げます。

本報告書では、今回の受賞のご紹介と第5回杉浦助成対象の活動報告も合わせて掲載させていただきました。本報告書の内容が、それぞれの分野に関心を持つ方々や、今後、杉浦賞及び杉浦助成に応募しようと考えている方々の参考となることを願っております。

当財団の設立経緯と趣意

私ども夫婦は、1976年12月、医薬品・健康食品・化粧品・日用品の販売および処方せん調剤を目的として薬局を愛知県西尾市に開設して以来、「地域のかかりつけ薬局」を目的にスギ薬局を育てて参りました。

幸運にも、皆様の多大なるご支援をいただき、たくさんのお客様・患者様にご利用いただける企業に成長させていただきました。（2017年2月末1048店舗、売上高4,308億円）

そのスギ薬局グループが創業35周年を迎えた2011年9月1日に、これまでのご支援に社会貢献という形で少しでもお役に立ちたいとの思いから、杉浦広一・杉浦昭子を設立人として「一般財団法人杉浦地域医療振興財団」を設立いたしました。そして2015年7月1日に公益認定を受け、名称を「公益財団法人杉浦記念財団」に改めました。

これを機に、引き続き地域包括ケアシステムの実現に向けて活動する個人・団体を支援する活動を継続することに加え、認知症問題や介護予防の分野でも、幅広く社会のお役に立てる活動を推進して参ることにいたしました。

今後とも、皆様のご指導ご鞭撻をいただきながら、一つひとつ実績を積み重ねて参りますので、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。